

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【公開番号】特開2013-249127(P2013-249127A)

【公開日】平成25年12月12日 (2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2012-126729(P2012-126729)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/08 (2006.01)

A 4 7 K 7/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/08 B

A 4 7 K 7/00 C

A 4 7 K 7/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月4日 (2014.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被包装物を収容した収容体と、該収容体に形成される該被包装物を取り出す取出口を覆うように固着された被覆シートと、該被覆シートに形成される該被包装物を取り出す取出口を覆うように該被覆シートの上面に貼付されたりシールラベルとを備えた包装体であって、

前記包装体は、前記リシールラベルの開閉方向である第 1 方向と、該第 1 方向に直交する第 2 方向を有し、

前記リシールラベルは、前記第 1 方向の一端部側に前記被覆シートに固定された固定部と、該第 1 方向の他端部側から該固定部に向かって剥離して立ち上げ可能なリシール部とを有し、

前記収容体は、その上面に、前記収容体の取出口を形成する収容体切断線を有し、該収容体切断線は、前記リシールラベルの前記固定部側から該リシールラベルの前記他端部側に凸に形成されており、

前記被覆シートは、前記収容体切断線の外方に、前記被覆シートの取出口を形成する前記リシールラベルの前記固定部側から該リシールラベルの前記他端部側に凸に形成された被覆シート切断線を有しており、

前記被覆シートは、その収容体側の面に、前記被覆シート切断線を含む帯状の非粘着部が、該被覆シート切断線に沿って形成されており、

前記被包装物を取り出す際に前記リシールラベルの前記リシール部を立ち上げると、該リシール部の根元部分が、前記リシールラベルと、該リシールラベルに固着され前記被覆シート切断線で切り離される前記被覆シートの切離片と、及び該被覆シートの切離片に固着され前記収容体切断線で切り離される前記収容体の切離片との三層部を有する包装体。

【請求項 2】

前記収容体切断線の両端部それぞれには、裂け止まり部が形成されている請求項 1 に記載の包装体。

【請求項 3】

前記被覆シートは、前記被覆シート切断線の両端部それぞれに、裂け止まり部が形成されている請求項 1 又は 2 に記載の包装体。

【請求項 4】

前記収容体切断線の裂け止まり部、または前記被覆シートの裂け止まり部は、円弧状に形成されている請求項 2 又は 3 に記載の包装体。

【請求項 5】

前記収容体切断線の両端部の位置が、前記被覆シート切断線の両端部の位置と一致している請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の包装体。

【請求項 6】

前記収容体切断線は、その両端部の位置が、前記被覆シート切断線の両端部の位置よりも前記リシールラベルの一端部側に配されている請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の包装体。

【請求項 7】

前記リシールラベルは、その一端部側に、一对の切り込み部を有している請求項 1 ～ 6 の何れか 1 項に記載の包装体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

包装体 1 は、後述するリシールラベル 5 のリシール部 5 2 を剥がすことにより、収容体 3 の取出口 3 1 及び被覆シート 4 の取出口 4 1 を開封して、収容体 3 に収容された積層状態のウェットシート 2 を、収容体 3 の取出口 3 1 及び被覆シート 4 の取出口 4 1 を介して、例えば 1 枚ずつ順次取り出すことができるようにしたものである。

本実施形態の包装体 1 は、リシールラベル 5 の開封および密閉を繰り返す開閉方向である第 1 方向（各図中の Y 方向）と、第 1 方向と直交する方向を第 2 方向（各図中の X 方向）とを有する。開閉方向のうち、開封する方向はリシールラベル 5 の 180°剥離を行う方向を意味する。本実施形態の包装体 1 は、ウェットシート 2 を取り出す前の状態においては、平面視して図中の Y 方向に長い形状のものである。なお、包装体 1、収容体 3、被覆シート 4、リシールラベル 5 は Y 方向に長い形状として説明したが、Y 方向と X 方向とが同じ長さでもよく、X 方向の方が Y 方向より長い形状でもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

リシールラベル 5 は、第 1 方向（Y 方向）の一端部 5 e 側に被覆シート 4 に固定された固定部 5 1 と、第 1 方向（Y 方向）の他端部 5 f 側から固定部 5 1 に向かって剥離して立ち上げ可能なリシール部 5 2 とを有している。リシールラベル 5 は、リシールラベル 5 の他端部 5 f 側から一端部 5 e 側の固定部 5 1 に向かって開封される。従って、リシールラベル 5 の開閉方向は、リシールラベル 5 の他端部 5 f 側から一端部 5 e 側の固定部 5 1 に向かう方向と同じである。また、リシールラベル 5 の開封は、リシールラベル 5 の他端部 5 f 側から一端部 5 e 側に向かって行うため、便宜的にリシールラベル 5 の他端部 5 f 側を「第 1 方向（Y 方向）前方」ともいい、リシールラベル 5 の一端部 5 e 側を「第 1 方向（Y 方向）後方」ともいう。図 4 には、図 1 に示す包装体 1 の備えるリシールラベル 5 の平面図が示されている。リシールラベル 5 は、図 3 に示すように、後述する被覆シート 4 の取出口 4 1 を覆う大きさを有し、図 4 に示すように、第 1 方向（Y 方向）の前端縁 5 a 及び後端縁 5 b を有している。ここで、前端縁 5 a は、図 4 に示すように、他端部 5 f に

おける第1方向（Y方向）の前方縁を意味し、リシールラベル5の第1方向（Y方向）の前方側の輪郭を示している。また、後端縁5bは、一端部5eにおける第1方向（Y方向）の後方縁を意味し、リシールラベル5の第1方向（Y方向）の後方側の輪郭を示している。前端縁5aは、図4に示すように、第1方向（Y方向）外方（固定部51と反対側に向かう方向）に向かって凸に形成されており、第2方向（X方向）中央部において、更に第1方向（Y方向）外方に向かって凸の円弧状に形成されている。該円弧状の部分は、リシール部52を剥がす（開封する）際に摘む摘み部53となる。後端縁5bは、図4に示すように、第2方向（X方向）に向けて直線状に延びている。前端縁5aの第2方向（X方向）の長さとは後端縁5bの第2方向（X方向）の長さとは同じである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

<1>被包装物を収容した収容体と、該収容体に形成される該被包装物を取り出す取出口を覆うように固着された被覆シートと、該被覆シートに形成される該被包装物を取り出す取出口を覆うように該被覆シートの上面に貼付されたリシールラベルとを備えた包装体であって、

前記包装体は、前記リシールラベルの開閉方向である第1方向と、該第1方向に直交する第2方向を有し、

前記リシールラベルは、前記第1方向の一端部側に前記被覆シートに固定された固定部と、該第1方向の他端部側から該固定部に向かって剥離して立ち上げ可能なリシール部とを有し、

前記収容体は、その上面に、前記収容体の取出口を形成する収容体切断線を有し、該収容体切断線は、前記リシールラベルの前記固定部側から該リシールラベルの前記他端部側に凸に形成されており、

前記被覆シートは、前記収容体切断線の外方に、前記被覆シートの取出口を形成する前記リシールラベルの前記固定部側から該リシールラベルの前記他端部側に凸に形成された被覆シート切断線を有しており、

前記被包装物を取り出す際に前記リシールラベルの前記リシール部を立ち上げると、該リシール部の根元部分が、前記リシールラベルと、該リシールラベルに固着され前記被覆シート切断線で切り離される前記被覆シートの切離片と、及び該被覆シートの切離片に固着され前記収容体切断線で切り離される前記収容体の切離片との三層部を有する包装体。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

<20>被包装物を収容した収容体と、該収容体に該被包装物を取り出す取出口を覆うように収容体上面に貼付されたリシールラベルとを備えた包装体であって、

前記包装体は、前記リシールラベルの開閉方向である第1方向と、該第1方向に直交する第2方向を有し、

前記リシールラベルは、前記第1方向の一端部側に前記被覆シートに固定された固定部と、前記第1方向の他端部側から該固定部に向かって剥離して立ち上げ可能なリシール部とを有し、

前記収容体は、その上面に、前記収容体の取出口を形成する収容体切断線を有し、該収容体切断線は、前記リシールラベルの前記固定部側から該リシールラベルの前記他端部側に凸に形成されており、

前記被包装物を取り出す際に前記リシールラベルの前記リシール部を立ち上げると、該リシール部の根元部分が、前記リシールラベルと、前記収容体切断線で切り離される前記収容体の切離片との二層部を有し、

前記収容体切断線の両端部それぞれには、裂け止まり部が形成されている包装体。